

(一社)岩手県バレーボール協会 令和8年度運営基本方針

基本目標

令和7年度より一般社団法人として事業運営を行っているが、これまでの岩手県バレーボール協会の理念を継承し、公益財団法人日本バレーボール協会の諸施策に基づき、本協会における財政基盤の確立、市町村協会、加盟登録団体との緊密な連携を図りながら、競技力向上および運営の安定化を推進し、目的の遂行に努める。

バレーボールの普及振興を図り、県民の健康増進と体力の向上を図るとともに健全な青少年の育成に寄与する。

青森県で開催の第80回国民スポーツ大会においては、ビーチバレーボール、6人制すべての種別の出場と天皇杯得点の獲得ができるよう、各種別の強化を図る。また、「岩手県バレーボール協会強化に関する中長期計画」にもとづいて、各指導者、各カテゴリー間の連携を図るとともに、一貫指導体制のもと計画的な強化事業の構築を推し進める。同時に全国障がい者大会出場に向け、選手の発掘育成・強化、組織作りに対する支援に努める。

生涯スポーツやレクリエーションスポーツとしてのバレーボールの在り方を模索し、更なる普及を図りながらバレーボールファンの拡大、社会貢献の方策を探りバレーボール人口の増加に努める。

インターネットやSNS等による各種情報サービスの提供や役員・会員に即時に対応できる環境をより充実させ、社会全般へより強力に広報活動を推進する。

社会の動きに合わせながらチームならびに選手本位の運営を目指し、競技運営、強化、指導普及の三位一体の態勢が強固となるよう努力する。

競技団体として、コンプライアンスの順守について積極的に啓発し、コンプライアンス違反の発生を未然に防ぐよう働きかける。

部活動の地域移行に伴い、中学校体育連盟バレーボール専門部とヤングバレーボール連盟の連携を緊密にする一助となるよう努める。

強化

国民スポーツ大会への全種別出場と天皇杯得点の獲得を目指して各種別代表の強化を図る。

小学生・中学校・高校・大学・ヤングクラブ・クラブの各カテゴリーにおいて、より一層の競技力向上を図るとともに、カテゴリーを超えて連携事業を展開させ、「チーム岩手」として県全体の強化に繋げる。

指導普及

公益財団法人日本バレーボール協会、公益財団法人岩手県スポーツ協会指導のもと、強化部門との連携を図りながら一貫指導体制の確立を目指す。

指導者の資質向上を図るため、公認スポーツ指導者新規資格取得のサポート、有資格者同士で情報交換ができるネットワークの構築、指導者のコンプライアンス順守・スポーツインテグリティの確立などを目指し、各種研修を積極的に開催する。

審判

審判方法及び技術の向上を目指し、チーム及び選手が最大限の力を発揮できるよう研鑽を重ねる。

若手審判員の発掘及び養成を図るとともに、有資格者による審判員随行制の徹底を図る。

財政

一般社団法人として、健全な財政運営を図りながら、財政基盤の充実・強化の方策を研究および検討し、社会情勢に対応できる基盤を構築していく。

各種事業について精査し、その趣旨・目的に合致した効果的な執行に努める。